

ともえ

2013
3
No.359



CONTENTS

巻頭特集

仕事に活かせる
商工会議所の検定試験!

- ◆企業探訪..... P12
- ◆ご案内..... P14



旅が、仕事が、暮らしが、街が変わる。

2015 新函館開業



しんくみのフリーローン

チヨイス

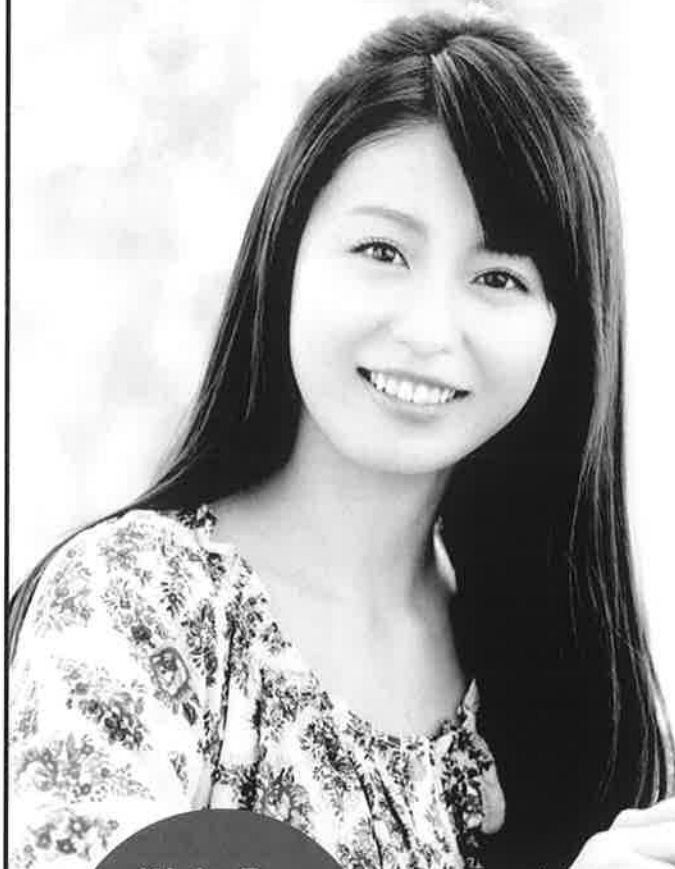
Choice

使いみち
自由

手続き
カンタン

原則、
本人確認資料
のみでOK!

返済期間
最長7年



Web・Fax
仮審査
24時間受付中!

原則、翌日までに仮審査結果を
ご連絡いたします。
<http://www.hakodate.shinkumi.jp/>

融資利率は 4段階の固定金利

年利 **5%・7%・10%・14%**

保証会社が低い金利から順に審査を行い、お客様の審査結果に応じた
ご融資利率とご融資金額を決定いたします。

最高300万円迄ご融資 ●お申し込みの際には審査をさせていただきます。
●審査によってはご希望にそえない場合がございますので、ご了承ください。

ご利用いただける方

- 以下の条件すべてを満たす方
- ①満20歳以上65歳以下で、完済時70歳以下であること
- ②安定・継続した収入の見込める方
- ③本ローン申込金額と当組合でのフリー系無担保ローン(カードローンを除く)残高の借入合計額が300万円以下であること

ご融資金額

- 10万円以上300万円以下
- 但し、主婦・パート・アルバイトの方は30万円以下

ご融資期間

- 7年以内

お使いみち

- ご自由 但し、事業性資金は除きます

ご融資利率

- 4段階金利とします 年5%、年7%、年10%、年14%

保証料率

- ご融資利率に含まれます

保証会社

- 全国しんくみ保証㈱

遅延損害金

- 年14%

ご融資方法

- 証書貸付

ご返済方法

- 毎月元利均等分割返済 (ボーナス併用返済不可)
- ご本人名義の預金口座からの自動引落としとします

連帯保証人

- 原則不要
- 但し、保証会社が必要と認めた場合は、この限りではありません。

提出していただく書類

- ①本人確認書類
運転免許証写し・写真付き住民基本台帳カード写し・健康保険証写し・パスポート写し・印鑑証明書のうち一点
- ②所得証明書
原則不要
- 但し、保証会社が必要と認めた場合は、この限りではありません。
- ※①②は連帯保証人についても必要となります



函館商工信用組合 <http://www.hakodate.shinkumi.jp/>

本店/TEL(0138)23-2101(代) FAX(0138)23-0798

ともえ

3月号
(通巻359号)

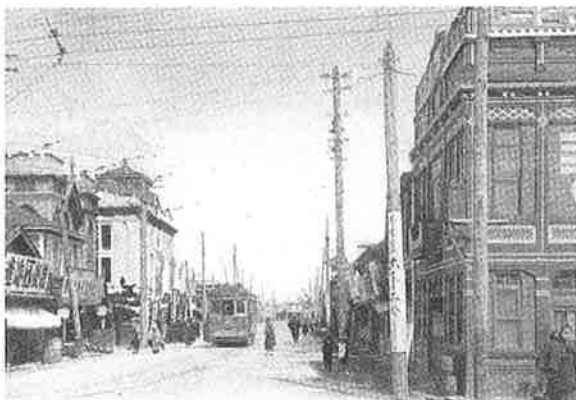
■今月の表紙

「函館蓬萊町錦輝館通」

写真は、蓬萊町錦輝館通(現在の宝来町電停付近)を撮影した昭和初期と推察される一葉です。

明治42年に映画常設館として営業をはじめた錦輝館は、大変珍しく新しい興業の場となり、当時の繁華街、歓楽街の中心となりました。

(函館市中央図書館所蔵)



CONTENTS

2 特集 仕事に活かせる商工会議所の検定試験!

4 会議所のうごき

- 北海道縦貫自動車道の早期完成を高橋知事に要望
- 大間原発の無期限凍結を再度要望
- 北海道の政策課題等に関する要望
- フード特区に関する勉強会
- 北海道新幹線新函館開業対策推進機構
- 函館市中心市街地活性化フォーラム
- 平成24年度観光ホスピタリティ講演会
- はこだて検定上級合格者のつどい
- 観光・飲食・サービス部会幹事会
- 台湾観光客誘致訪問
- 今後のうごき

8 中小企業相談所だより

- マル経融資
- 小規模企業共済制度
- 平成25年新入社員セミナー
- 個別専門相談日程

10 新幹線情報

11 労働契約法改正のポイント

12 企業探訪

- (株)リード不動産

14 ご案内

- 函館～大阪(伊丹)線開設
- 定期健康診断割引制度
- HAC創立15周年
- 第57回函館圏優良土産品推奨会出品募集

16 連載コラム 快進撃企業に学べ

- 難民を支援し続ける『富士メガネ』

広告掲載企業

函館商工信用組合	表紙裏
名鉄観光サービス(株)函館支店	裏表紙裏
(株)近藤商会	裏表紙
中小企業基盤整備機構	段下
(業)英知国際特許事務所	段下
ホンダカーズ北海道(株)	段下
五稜郭タワー(株)	段下
龍文堂印刷(株)	段下
全国健康保険協会北海道支部	折込
日本航空(株)函館支店	折込
学校法人 大原学園	折込
定期健康診断割引制度	折込
平成25年度各種検定試験日程	折込
商工会議所ニュース	折込

仕事に活かせる

商工会議所の検定試験!



簿記検定



簿記は、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。

簿記を理解することによって、企業の経理事務に必要な会計知識だけではなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力が身につきます。また、ビジネスの基本であるコスト感覚も身につきますので、コストを意識した仕事ができるとともに、取引先の経営状況を把握できるために、経理担当者だけではなく、全ての社会人に役立ちます。

■このような方々の役に立ちます

- 企業の経理・会計担当者
- 利益率を重視する営業担当者
- コスト管理を求められる管理者
- 取引先企業の経営状況を把握したい人
- 公認会計士や税理士等の国家資格をめざす人
- 税務申告を自分で行いたい人
- 有価証券報告書等を分析して資産運用を図りたい人

■このような効果が期待できます

- 正しく帳簿をつけられる
- 自社の長所や短所を分析できる
- 費用や収益率を意識できるようになる
- 取引先企業の経営状況を把握できる

■各級のレベル

1級

税理士、公認会計士などの国家試験の登竜門。大学程度の商業簿記、工業簿記、原価計算並びに会計学を修得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる。

2級

高校程度の商業簿記および工業簿記(初歩的な原価計算を含む)を修得している。財務諸表を読む力がつき、企業の経営状況を把握できる。相手の経営状況もわかるので、株式会社の経営管理に役立つ。

3級

財務担当者に必須の基本知識が身につく。商店、中小企業の経理事務に役立つ。経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から理解できるようになる。営業、管理部門に必要な知識として評価する企業が増えている。

4級

簿記入門編。小規模小売店の経理に役立つ。勘定科目に仕訳でき、複式簿記の仕組みを理解している。

販売士検定



販売士は、流通業界で最も必要とされている多様化・高度化した顧客のニーズを的確に捉え、豊富な商品知識や顧客に配慮した接客技術を武器として、ニーズにあった商品を提供するとともに、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うことができる「販売のプロ」です。

激動する流通業界で勝ち抜くための必須の資格・検定であり、「流通業界で唯一の公的資格」として社会的にも高い信頼と評価を得ています。

■このような方々の役に立ちます

- デパート、専門店、スーパーなど、大規模小売店の販売員及び売場責任者や店長クラスの方
- 一般小売店の経営者及び従業員
- 製造業、サービス業、卸売業などの販売業務担当者
- これから流通業界で活躍したい人

■このような効果が期待できます

- 接客に関する基礎知識が身につく
- 取扱商品に関する専門知識が身につく
- 売場や店舗を管理する能力が身につく
- 経済の動き全体からみた店舗経営が身につく

■各級のレベル

1級

小売業経営に関する高度の専門的な知識を身につけ、経営計画を立案し、総合的な管理業務を遂行できる。大規模小売店の店長や部長クラス、中小小売業の経営者クラスが対象。

2級

小売業について、主として販売に関する専門的な知識を身につけ、ある程度の管理業務を遂行し、かつ部下を指導することができる。売場主任、部課長など中堅幹部クラスが対象。

3級

小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身に付けている。売場の担当者などが対象。

商工会議所の検定試験は、全国統一の基準により実施される「公的試験」です。試験は、ビジネス実務に直結する知識やスキルを重視し、企業が必要とする人材の育成を目的に実施しているため、多くの企業から高い評価と信頼を得ています。資格の取得を通じて、幅広い分野で実務能力を磨きキャリアアップを目指してみたいかがでしょうか。



平成25年度各種検定試験施行日・募集期間一覧を同封しています!

日商PC検定



日商PC検定は、IT(情報通信技術)を利活用する実践的な知識・技能の修得を目指すとともに、ネット社会に対応した新たなビジネススキルの育成を図ることを目的として、ビジネス文書の作成・取扱いを問う「文書作成」と、業務データの活用・取扱いを問う「データ活用」、さらにストーリー展開を踏まえたプレゼン資料の作成能力を問う「プレゼン資料作成」の3分野で構成され、それぞれインターネットを介して施行から採点、合否判定を行うネット試験として施行されています。

■試験内容

1. ビジネス実務に必要とされるハード、ソフト等IT関連の知識を問う。
2. ビジネス実務におけるパソコン等IT機器、ネットワークの利活用について問う。
3. ネット社会における新たなビジネススタイル、ビジネススキルを問う。
4. ビジネス文書や業務データ、プレゼン資料について、その作成のみならず、保存、管理、検索、活

用、流通、再利用などライフサイクル全般について問う。

5. ITを利活用した実践的なコミュニケーション能力を問う。
6. ネットワーク上での、ビジネス文書や業務データ、プレゼン資料の取扱いについて問う。

■各級のレベル

1級

ビジネス実務に必要とされる実践的なIT・ネットワークの知識、スキルを有するとともに、ネット社会のビジネススタイルを踏まえた、企業責任者(または企業責任者を補佐する者)として、その知識やスキルを活用しながら経営判断や意思決定を行う(助言する)ことができる。

2級

ビジネス実務に必要とされる実践的なIT・ネットワークの知識、スキルを有する、部門責任者(または部門責任者を補佐する者)として、その知識やスキルを業務の効率・円滑化、業績向上を図るうえで利活用することができる。

3級

ビジネス実務に必要とされる基本的なIT・ネットワークの知識、スキルを有し、それを自己の業務に利活用することができる。

Basic

基本的なワープロソフトや表計算ソフトの操作スキルを有し、それをビジネス実務に対応することができる。実技科目のみで、知識科目はない。

高齢者や障害者にやさしい住環境を提案する

福祉住環境 コーディネーター検定試験

福祉・医療面と、住宅改修・福祉用具などの知識を併せもち、高齢者や障害者にやさしい住環境整備を提案するコーディネーターの養成を目的とした検定試験です。

社会と環境を考える“人”になる

eco検定 (環境社会検定試験®)

環境に対する幅広い知識を持ち、社会の中で率先して環境問題に取り組む“人づくり”、そして環境と経済を両立させた「持続可能な社会」を目指します。



知識・技能を
身につけて
**STEP
UP!**

色彩感覚を身につけて、色を操るプロになる

カラー コーディネーター検定試験

ファッション、インテリア、エクステリア、都市環境における色彩計画、快適な住環境を演出するプランニング、商品開発、企業広報などの分野で色彩感覚を活かして、幅広く活躍できます。

ビジネスに必要な法律知識を身につける

ビジネス実務法務検定試験®

ビジネスにおいて、リスクを事前に察知、法的にチェックし、問題点を解決に導く実践的な法律知識は、法務部門に限らず全てのビジネスパーソンに必要な不可欠な能力です。

上記4つの検定パンフは来月号に同封いたします。

北海道縦貫自動車道の早期完成を 高橋知事に要望

去る2月8日、北海道縦貫自動車道における未供用区間七飯IC～大沼公園ICの整備促進について、早期着工を求める要望書を、松本会頭が高橋知事に対し提出しました。

新幹線や航空機とともに、高速道路の整備促進は、高速交通体系を確立するにあたり、道央圏と道南圏との連携強化を図る上でも重要であり、特に道南地域においては、道内で上位を占める数多くの道南産農水産物の流通利便性の向上をはじめ、救急医療や災害時の緊急輸送ルートの確保、また道南各地域に点在する観光地の周遊広域観光の促進など、南北海道の中核都市として、北海道縦貫自動車道の全線開通は最重要課題であること

から、いまだ目途が立っていない本区間（残り約10km）の早期着工を強く要請しました。



▲高橋知事へ要望書を手渡す松本会頭

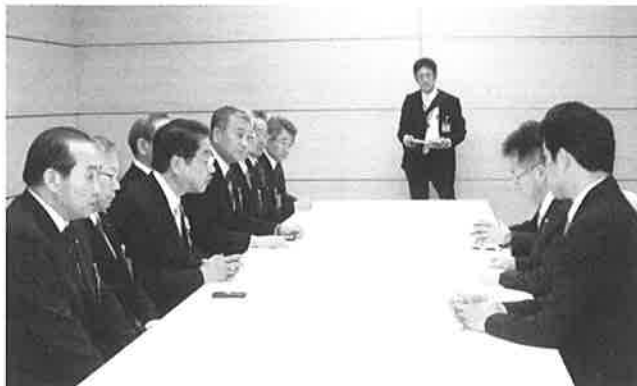
■大間原発の無期限凍結を再度要望

大間原発の無期限凍結を求める要望活動を去る2月19日、工藤市長、松本会頭、能登谷議長をはじめ道南6市町の首長ほか各界の代表総勢14名が参加のもと、自民党本部などを訪問し実施しました。

要請団は、昨年10月に建設を再開した大間原発に関し、現政権である自民・公明両党の合意に基づく「可能な限り原発を減らす」という意向を踏まえ、あらためて大間原発の無期限凍結を要請したもので、世耕内閣官房副長官をはじめ、赤羽経済産業省副大臣などに対し要請書を提出しました。

要請書では、津軽海峡を挟んで最短23キロに位

置する大間原発が、函館市並びに道南地域住民の生命に関わる危険性がある事や、漁業・農業などの一次産業をはじめ観光産業など基幹産業がうける壊滅的な被害など、当地域へ及ぼす影響の大きさを訴えました。



▲大間原発の無期限凍結を要望する松本会頭

■北海道の政策課題等について要望

去る2月20日から21日の日程において、北海道商工会議所連合会として、本所より松本会頭のほか道内各地から30名の代表が参加のもと、次年度北海道開発予算や北海道の政策課題に関する要望を行いました。

当日は、新幹線をはじめ高規格幹線道路等のインフラ整備やエネルギー対策、国際化への対応策など、道内各地が抱える課題を含め、11項目による北海道経済再生に向けた施策の推進、対応強化を要望したもので、自民党北海道ブロック選出国會議員との懇談会や、同じく自民党北海道両院議員会への要望会を行ったほか、国土交通省など関係省庁への要請も実施しました。



▲要望を行う松本会頭

■フード特区に関する勉強会

70名の参加者が制度概要など説明を受ける

第2回フード特区に関する勉強会を去る2月12日、函館水産連合協議会、函館国際水産・海洋都市推進機構など6団体で構成する実行委員会が主催のもと本所において開催しました。

フード特区は、北海道の農水産業を中心とした食産業の優位性を最大限に活かし生産から販売の各分野から成る強固な食の価値連鎖を形成し「食品の輸出拡大」や「食料自給率の向上」を目指すものです。

当日の勉強会には、関連企業や団体から約70名が参加し、フード特区機構販路拡大支援部の堀コーディネーター等3名の講師から東アジアの食市場の状況及び新たに開拓しているビジネスやサンプル輸送事業等について説明を受け、参加者からは

「現地のバイヤーを招いて、新鮮な本道の食材を味わってもらえることはできないか」等の質問が出されました。



▲講師の説明を聴講する参加者

■北海道新幹線新函館開業対策推進機構

新幹線全線開業2年目を迎えた九州を視察

北海道新幹線新函館開業対策推進機構では去る2月13～15日、函館市の観光アドバイザー会議先進事例調査及び観光中核人材会議視察研修と合わせ、九州新幹線全線開業2年目の現況調査を実施しました。

現地では関係施設の視察や観光特急のサービス内容点検を実施、鹿児島市役所・指宿市観光協会・由布院温泉観光協会ではそれぞれ現況ヒアリングと意見交換を行いました。指宿では、新幹線開業後に行った観光客アンケートの結果として、観光基盤施設などのハード整備に対する評価や反響はあまりなく、市民や事業者のサービスとホスピタリティから得た喜びや感動についての評価が大半だったという結果が紹介され、市民や事業者のおもてなし意識を高めるソフト施策が何より重要だとのメッセージをいただき、函館地域としても新幹線開業に向け着実に実現させるべき課題であることを再認識させられた視察調査となりました。



▲観光特急車内で乗客におもてなしをするアテンダント

■函館市中心市街地活性化フォーラム

中心市街地活性化について松井審議官が講演

函館市中心市街地活性化協議会主催による、函館市中心市街地活性化フォーラムを去る2月22日、ロワジールホテル函館において130名が参加のもと開催しました。

当日は、「中心市街地の活性化について～中心市街地のまちづくり～」と題して、国土交通省大臣官房技術審議官松井直人氏を講師に迎え基調講演が行われ、マイカーに依存しない市電・バスなど公共交通の徹底的な活用や、地域の人々の生活基盤となる社会、経済、文化の拠点をつくることの重要性などについて説明がありました。

また、3月中の認定を目指す函館市中心市街地活性化基本計画については、公立ほこだて未来大学教授木村健一氏をコーディネーターにパネルディスカッションが行われたほか、中心市街地のトータルデザインについての経過報告が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲開催に先立ち挨拶を行う永井副会頭

■観光ホスピタリティ講演会

弘前での取り組みからおもてなしの心を学ぶ

本所・函館市・函館観光コンベンション協会の共催による平成24年度観光ホスピタリティ講演会を去る2月23日、ロワジールホテル函館において観光関係者をはじめ市民ら110名が参加のもと開催しました。

当日は、弘前市において介護が必要な旅行客を受け入れ、様々な旅行を提案している旅行会社たびすけ代表の西谷雷佐氏を講師に迎えて「地域で

育むおもてなしの心」と題した講演を行い、健康に不安のある方が楽しく安全に旅行ができるための取り組みをはじめ「道路の段差をなくすことだけがバリアフリーではなく、困っている人を助けようとする気持ちが一番大切」など、おもてなしの心について説明されました。



▲西谷代表の講話を聴講する参加者

■ほこだて検定上級合格者のつどい

難関突破の合格者が交流を図る

ほこだて検定上級合格者のつどいを去る2月23日、同日に開催した観光ホスピタリティ講演会に引き続いてロワジールホテル函館において開催しました。

つどいでは、過去の平均合格率が14.2%という超難関の上級試験を合格された方々の中から17名が参加のもと、ホスピタリティ講演会の講師である西谷代表を交えて、各分野で活躍されている方々による情報交換を行うなど交流を深めました。

また、昨年の第7回検定において新たに合格者となった2名と、過去6回全ての上級試験に合格されている吉井さんからご挨拶をいただき、終始和やかな雰囲気の中懇談を行いました。



▲交流を図る上級合格者の方々

■観光・飲食・サービス部会幹事会

副部会長2名を選任

観光・飲食・サービス部会幹事会を去る2月26日、久保副会頭、西村部会長をはじめ16名が出席のもと、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当日は第1号議案として、議員の異動などにより空席となっている副部会長2名の選任について協議が行われ、久保副会頭より部会活性化に貢献していただける人材として函館山ロープウェイ(株)の本間秀行氏と、(株)函館平安システムの金澤俊司氏の推薦があり、満場一致で選任しました。

また、第2号議案として平成25年度の函館市観光施策について、函館市観光コンベンション部の布谷部長を招き、函館市一般会計歳出予算(案)、観光費の主な内容、24年度上期観光入込客数について説明を受けました。



▲副部会長2名を選任した観光・飲食・サービス部会幹事会

■台湾観光客誘致訪問

地域の魅力をPRし観光客を誘致

台湾観光客誘致訪問を去る2月28日～3月3日の日程で、工藤市長や松本会頭、全副会頭をはじめ高谷北斗市長、中宮七飯町長ら総勢30名の要請団が参加のもと台湾を訪問し、道南地域のPRや観光客の誘致活動を行いました。

函館－台湾間は、昨年から国際定期便が就航しており、韓国からの定期便が運休するなか台湾からの観光客誘致は、当市にとって重要な観光施策

の一つです。そのため訪問団は、復興、エバー、中華の各航空会社をはじめ各旅行会社を訪れ、それぞれ積極的な観光客送客等の要請活動を行い、要請の中でエバー航空は毎日運航を検討したいとの発言や中華航空からは定期便運航を検討しているなど、各社から前向きな説明を受けました。

また、近年交流が深まっている基隆市を表敬訪問し、翌日には青森県の訪問団と合流し、青函合同での観光説明会を開くなど道南圏と併せて北海道新幹線時代を見据えた青函圏の合同観光プロモーション活動も行いました。



▲基隆市を表敬訪問し交流を深める訪問団

■今後のうごき

【2月28日現在】

3月	
10	(日) 平成24年度販売士資格更新講習会
16	(土) 青年部創立10周年記念講演会・祝賀会
19	(火) 金融個別相談
21	(木) 青函商工会議所 会員事業所パートナーシップ構築懇談会
22	(金) 平成25年新入社員セミナー 法律相談
26	(火) 青年部臨時総会・3月例会
27	(水) 第7回常議員会・第5回通常議員総会 発明相談
28	(木) 第57回函館圏優良土産品推奨会
4月	
9	(火) 保証協会個別相談
11	(木) 経営相談
23	(火) 女性会定時総会